

## ■ 高圧化学工業



河村社長



当社は大阪市大正区の大坂湾に面した「工業専用地域」にあり、最も近い住宅地より約100m、小学校へは300mの場所にあります。2008年8月に環境省策定の環境マネジメントシステムである「エコアクション21」の認証を取得し、CO<sub>2</sub>削減、省資源、節水を三本柱に環境負荷の削減に取り組んでいます。

2009年度は、エコアクション21システムの規格改定が行われました。これまでのCO<sub>2</sub>削減、省資源、節水に加え、新たに化学物質使用量の削減、製品およびサービスに関する環境目標が加わりましたが、当社ではこれに基づいていち早く環境目標を改訂して取り組みを実施し、成果を挙げ

ています。

2010年度は当社の環境、安全衛生、品質の各マネジメントシステムにリスクマネジメントを応用してリスク対策を行うとともに、新型インフルエンザ、地震といった自然災害などに対する対策を事業継続計画(BCP)として確立し、継続的に社会貢献のできる企業となるよう計画しています。

所在地：大阪市大正区鶴町5丁目1-12

設立：1959年3月

敷地面積：8,970m<sup>2</sup>

従業員：社員54名、協力会社員・パート9名

### ● 環境パフォーマンス

インプット	エネルギー	電力(GWh)	4.2
		化石燃料(千kl)	0.7
	合計(千kl原油換算)	1.8	
水資源	水道水(千m <sup>3</sup> )	42.8	
	工業用水(千m <sup>3</sup> )	0.0	
	地下水(千m <sup>3</sup> )	0.0	
原材料(千t)		4.0	
アウトプット	大気への環境負荷	CO <sub>2</sub> (千t)	2.9
		NOx(t)	0.4
		SOx(t)	0.0
		PRTR物質(t)	0.3
	水域への環境負荷	COD(t)	0.9
		SS(t)	0.3
		排水(千m <sup>3</sup> )	48.2
	産業廃棄物	PRTR物質(t)	0.0
		社内発生量(t)	1,460.0
		工場排出量(t)	1,369.0
うちPRTR物質移動量(t)		37.5	
	最終埋立量(t)	0.0	
製品(千t)		2.1	

### ● 工場トレンド

#### ■ CO<sub>2</sub> 排出量



#### ■ エネルギー使用量



#### ■ 廃棄物発生量



### 私たちの 温暖化対策

## 水使用量の削減で省エネを推進しています

省エネというと、重油、灯油などの燃料や電気使用量の削減というのがまず浮かんできますが、目に見えにくい省エネというものも存在します。その中のひとつが水使用量の削減です。水は手軽に利用しがちですが、手元に届くまでに取水、浄化、配管輸送という工程があり、利用後も配管輸送、廃水処理、河川への放出という工程を経ます。この過程で多大なエネルギーを使用するため、水使用量を削減することは水資源の節約というよりは省エネに相当します。

そんな観点から、当社では、①製造用水道水使用量の削減、②メルトー攪拌機、送液ポンプなどの冷却水の削減の2点を目標として実施しています。①については、製造処方を見直し、製造工程や洗浄工程における上水道の使用量を削減。上半期は32トン削減できました。また②については、今まで冷却水は必要な個所を通った後ワンパスで廃棄されていま

したが、この冷却水ラインを見直し、効率よく循環使用できるラインに変更し、上半期実績では150トンと大幅に削減することができました。

また当社では、省エネルギーだけでなく、低騒音エアコンプレッサー(写真参照)を導入し、周辺地域へ騒音を出さないように配慮した活動を展開していきます。



紹介者：糸井 泰



低騒音コンプレッサー